

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	23224001	研究期間	平成23年度～平成27年度
研究課題名	幾何学的モジュライ理論の深化と理論的応用	研究代表者 (所属・職)	中村 郁（北海道大学・名誉教授）

【平成26年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○ A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、様々なモジュライ空間の研究を深め、数学の関連する分野や、より広く社会科学へ応用することを目的としている。当初あった具体的な研究目的のうち、アーベル多様体のモジュライ空間のコンパクト化や、安定写像のモジュライ空間については既に達成しつつあるが、超平面配置の社会科学への応用や、代数多様体のエントロピーについての研究は、どれだけの進展があったかははっきりとしない。一方で、安定ベクトル束のモジュライ空間を使ったゼータ関数理論など、当初の研究目的にはなかった大きな成果も得られており、全体として期待どおりの成果が得られていると評価できる。</p>	